

別紙（第10号様式「7 経過と内容」）

事業名	子どもたちを地域で育てる吹奏楽文化の振興事業
団体名	六会リトルアンサンブル（MLE）
協働相手名	藤沢市教育委員会 教育指導課
1. 事業目的	
六会リトルアンサンブル（MLE）として、小学生の吹奏楽バンドの活動を継続し、現在進行している中学生の部活動についての地域移行や地域連携の事業を周知しながら2年間で一つのモデルケースを示していく。	
2. 事業概要	
市民活動と共に部活動地域移行の理解を深める広報活動を行う。先行地域のアドバイザーを迎え、ご助言いただき、藤沢市にあった形を実現する為、活動の様子やコンサートも開催し、未来の姿の一端を示していく。	
3. 成果目標	
MLE メンバーの人数増（毎年20名程度の団員の維持）を目指すため、各事業を通してのアンケートや感想を活用する。また、藤沢市内中学生の部活動についての地域移行・地域連携に向けたモデルケースを示すため、2022年に関係者に行われたアンケートや今後の事業ごとの感想や終了後のアンケートのまとめを参考に、部活動の地域移行・地域連携について10%程度の理解向上を目指し、その後の各事業につないでいく。	
4. 成果目標に対する結果	
- MLE メンバーの人数増（20人程度の団員維持）について → 今年度初めの団員数8名だったが、今年度末の人数19名となり、倍以上の人数になったのでほぼ達成できた。 - 藤沢市内中学生の部活動についての地域移行・地域連携のモデルケースを示すことについて → 「未来ふじさわ吹奏楽団」という中学生のための市民バンドを10月に立ち上げることができた。活動に参加する生徒は、吹奏楽の経験がある生徒(6名)と初心者の生徒(2名)の合計8名が有意義な活動を行った。 - 各事業ごとのアンケート実施、そこからの部活動地域移行・地域連携について10%程度の理解向上を目指し、その後の各事業につなげていくことについて → 中学生バンドの立ち上げに時間が掛かり、アンケートは3月の合同発表会でしか、取ることができなかった。この取り組みに対するご理解や評価をする感想は散見されたが、理解を促すためのアプローチは不足しているため、目標を達成するに至らなかった。	

5. 団体と協働相手の役割分担	
団 体	市民活動として本団体が行う「小学生の吹奏楽バンド」の活動を通して、小学生・中学生を取り巻く文化的な活動に市民が目向け、その活動を地域で展開していく役割を理解しながら、藤沢市の中で活動の実践を行っていききたい。 また、中学生を取り巻く部活動の地域移行・地域連携についても喫緊の課題であり、教育委員会として様々な取り組みをする中で、少しでも足掛かりになることを見つけながら、推進に貢献していきたいと考えている。
協 働 相 手	本市教育委員会教育指導課は、令和 5 年度より「部活動地域移行・地域連携」に部活動担当部署として取り組んでいる。2 つの運動部で委託事業として地域クラブモデル実証を開始したが、文化部では未着手であることから、六会中学校を拠点とした六会リトルアンサンブルと地域の中学校吹奏楽部との「地域クラブ活動」の取組を本事業を通じて支援し、その取組を市内各所に未来の市民活動のモデル例として、発信し広めたいと考えている。
6. 実施した事業の内容・時期	
年 月	実施内容
2025 年 4 ～ 6 月	・中学生バンドの周知に向けての準備、団員募集説明会及び体験入団の準備
2025 年 7 月	・団員募集説明会のチラシ・ポスターの作成、及び中学校（50 部）各市民センター（10 部）に配布。（資料 1・2）広報ふじさわ掲載。
2025 年 8 月	・団員募集説明会の実施（資料 3-1）教育指導課出席 ① 8/2(土) 六会市民 C 10:00～11:00 4 名参加 ② 8/3(日) 明治市民 C 10:00～11:00 9 名参加 ③ 8/5(火) 長後市民 C 13:30～14:30 3 名参加 ④ 8/7(木) 市民利用会議室 18:00～19:00 4 名参加 （中学 1 ～ 3 年 吹奏楽部所属/初心者 12 名）
2025 年 9 月	・体験入団の実施（資料 3-2）教育指導課出席 9/13(土)・9/20(土)の 2 回 六会市民 C(延べ 16 名参加)
2025 年 10 月	・本入団、練習開始 ・合同発表会チラシ作成 各中学校・市民 C に配布(資料 4) ・10/18(土)「ふるさとまつり」出演 六会市民 C（資料 5） 六会中・MLE・未来ふじさわ吹奏楽団で合同演奏及び PR ・プラザむつあい 湘南台駅地下道パネル展示（資料 6）
2025 年 11 月	・11/22(土) 湘南台アートスクエアライブに出演(資料 7)

2025 年 12 月 2026 年 1 月 2026 年 2 月 2026 年 3 月	教育指導課出席 MLE と未来ふじさわ吹奏楽団で合同演奏と PR ・レディオ湘南「地域に出張！」に出演のため収録 ・市民活動推進センター パネル展示（市役所 1F）（資料 8） ・六会駅前イルミネーションコンサート出演(資料 9) ・ミライカナエル活動サポート事業交流会参加（資料 10） ・楽器寄附を募るチラシ及び合同発表会の周知チラシ作成・六会地区回覧（資料 11・12） ・MLE の HP 更新（合同発表会のお知らせ） ・市民活動大交流会出演(資料 13) MLE と未来ふじさわ吹奏楽団で合同演奏と PR ・広報ふじさわに発表会のお知らせ掲載 ・第 1 回未来ふじさわ吹奏楽団/第 12 回六会リトルアンサンブル（MLE）合同演奏会（湘南台市民シアターホール） スタッフ 15 名、観客数 200 名強 教育指導課出席 未来ふじさわ吹奏楽団（中学生バンド）について 今年度の本入団者 8 名（うち経験者 6 名、初心者 2 名） 六会リトルアンサンブル（小学生バンド）について 今年度初めの団員数 8 名→今年度末の人数 19 名 （資料 14-プログラム・資料 15-写真・資料 16-アンケート/生徒感想まとめ）
7. 事業を実施して見えてきた課題 ・中学生バンドの立ち上げまでに時間が掛ったため「ふれあいサマーコンサート」の出演に至らなかった。 ・地域で活動する小学生・中学生の部活動に代わる活動を想定した時、広い範囲でのたくさんの市民の理解と協力が必要であるため、どう伝えていくか課題である。 ・様々なイベントを通して活動している姿を見たいいただく機会を多く持つことが、次の活動への足掛かりになるので PR 方法の工夫が課題である。 ・楽器を揃えるために寄付を募っても修理や調整にとってもお金が掛かるので助成金だけではまかなえず、楽器メンテナンス費用の捻出方法の工夫が課題である。 ・中学生の参加状況から、楽器経験のある生徒への質の高い技術指導と初心者に合った指導の両方が必要であることから、指導面での工夫が課題である。 ・公共施設を市民活動で使用する場合の方法に課題がある。	

8. 事業に対する自己評価・感想	
団体	・計画した事業の内容を進めていくことで精いっぱいだった。 ・子どもたちの成長は、とても大きく、この事業を進めていく意義は十分にあると実感した。 ・事業内容を精査し、2年目の事業をさらに充実したものにしていきたい。
協働相手	・中学生が学校外での活動に参加することで、同じ興味・関心をもった他校の中学生や指導者と多様な学びや経験をする機会が生まれ、さらに自らの興味・関心を深く追及することができるなど充実した活動の場となった。 ・中学校の部活動には所属していない子どもが参加し、生き生きと活動している姿を見ることができた。 ・地域団体が学校施設を使用する際に、必要となる手続きを整理することができたが、学校施設や備品の借用をする際に、学校側と団体側の考えの相違を調整することに苦慮した。 ・本事業は、部活動の地域展開のモデルケースとなり得る事業としてモニタリングを行ってきたが、本市が現状想定する地域展開における地域クラブとしての役割を担うためには、活動場所の確保や運営資金の調達など、様々な課題がある。一方で、吹奏楽に触れたいという子供たちの受け入れ先としては大変有益な地域活動であると捉えていることから、令和8年度においては、本協働事業終了後に本団体が自走できる形が確立できるよう、サポートしていきたい。
9. 3年後、叶えたいミライ（ビジョン・取組・成果目標）	
【3年後にかなえたいミライ（ビジョン）】 ・小学生の吹奏楽バンドとしての活動を藤沢市全体に周知し、広報活動を通じて楽しさを伝え、継続的に20名程度の団員で活動していきたい。また現在、教育指導課が取り組んでいる中学校部活動の地域移行・地域連携についても協働して取り組むことで、児童・生徒のための地域に根差した文化活動のモデルの一つを示していきたい。 <2026年度> 1. 【周知活動事業の実施】 1年目の活動を通して見えてきた課題やアンケートの内容から分析したことを生かし、2年目の活動内容に沿って周知する。 団員募集・ふれあいサマーコンサート・合同発表会等のチラシを配布する。 2. 【アドバイザーとの実態検証事業】 1年目の事業の状況を踏まえて、アドバイザーから今後の課題について客観的な意見を得ながら、藤沢市にふさわしい活動にしていくためのアドバイスをいただく。 また、「ふれあいサマーコンサート」において、部活動の地域移行・地域連携についての市民への理解を進めるためのご講演をいただき、10%程度の理解向上を目指す。 3. 【活動公開実施事業】 今年度は年度初めから中学生の活動ができるため、市民活動としての課題等について、見ていただいた方にご意見を伺い参考にする。 ・練習については、随時公開 ・演奏の機会 6回/年実施 合同演奏会では、250名以上の来場者を目指し、来場者アンケートを参考にする。	

ミライカナエル活動サポート事業 収支決算書

(収入の部)

費 目	予算額(a)	決算額(b)	比較(b-a)	摘要
ミライカナエル活動サポート事業 補助金・負担金(千円未満切捨て)	1,500,000	1,500,000		
団体拠出金	51,716	30,507	-21,209	
合計	¥1,551,716	¥1,530,507	¥-21,209	

(支出の部)

補助金 充当先	費 目	予算額(a)	決算額(b)	比較(b-a)	摘要
○	助言サポート講師依頼謝金	100,000	111,371	11,371	静岡県掛川市から視察助言 自宅～会場までの交通費 ふれあいサマーコンサート(2回) ¥33,460 合同発表会(2回) ¥33,680 活動視察 ¥32,860 すべて交通費 税金 ¥11,371
○	コンサート費用	145,595	124,075	-21,520	2026年度ふれあいサマーコンサート会場予約 費 ¥15,290 2026年度合同発表会予約費 ¥29,435 2025年度予約費 ¥26,630 当日経費 ¥52,720(楽屋代、スタジオ、舞台備 品・ピアノ等)
○	チラシ・ポスター・パンフレット代	108,097	67,030	-41,067	団員募集説明会ポスター100枚 ¥10,530 チラシ1500枚 ¥12,746 発表会チラシ両面2300枚 ¥8,548 片面1300枚 ¥3,389 楽器寄付チラシ 1100枚 ¥4,303 発表会パンフレット 300部 ¥27,514
○	通信運搬費	8,000	7,850	-150	協定書送付切手代 ¥320 レターバックライト 10枚 ¥4,300 葉書 38枚 ¥3,230
○	トラック楽器運搬費	40,000	18,293	-21,707	コンサート1回分レンタカー ¥17,710 ガソリン代 ¥583
○	楽器レンタルリース費	154,000	154,000		チューバ(YBB3212) 22,000X7か月
○	楽器消耗品・修理費	566,521	615,851	49,330	楽器修理費 ¥520,748 内訳: トロンボーン クラリネット ホルン アルトサク クス2 トランペット2 バスクラリネット ユー フォニアム フルート2 消耗品費 ¥95,103 内訳: マウスピース(トランペット クラリネット) リガチャー(クラリネット) リード(クラリネット アルトサククス テナー サククスバスクラ)譜面台9本
○	事務用品	167,030	167,030		ノートPC ¥112,548 プリンター ¥24,800 ラミネーター ¥14,500 消費税 ¥15,184
○	事務用品消耗品	54,583	56,117	1,534	クリアファイル、ラミネートフィルム、インク、紙 ¥54,583 クラフト封筒角2 ¥767X2袋= ¥1,534
○	人件費	200,000	201,000	1,000	1,000円X延べ201名分 4月(25)5月(24)6月(13)7月(35)8月(29)9月(45) 10月(30)
○	ボランティア保険	4,140	4,140		(公財)スポーツ安全協会スポーツ安全保険A2 ¥4,000(¥800X5名) 手数料 ¥140
○	会場使用料	3,750	3,750		会議室使用料(団員募集説明会1回・定例会6回) 市民利用会議室 ¥2,250 未来・MLE定例会6回分 (長後・六会各市民センター) ¥1,500
	合計	¥1,551,716	¥1,530,507	¥-21,209	

※ 収入の部、支出の部の合計が一致するように作成してください。